



取材教室「忍者入門！」で、川上先生にいろいろな忍術を教してもらいました。その中でも、特に心に残ったことは「印」です。

印には、臨・兵・闘・者・皆・陣・烈・在・前の九つがあるそうで、それぞれに指を組んでみると、とても難しかったです。山田先生からは、印を結ぶと「集中力が高まり、リラックスする」という研究結果を教わりました。

忍者が食べていた兵糧丸という食べ物についても聞きました。兵糧丸はお米や砂糖のほかに漢方薬につかう生薬が入っていて元気が出るそうです。



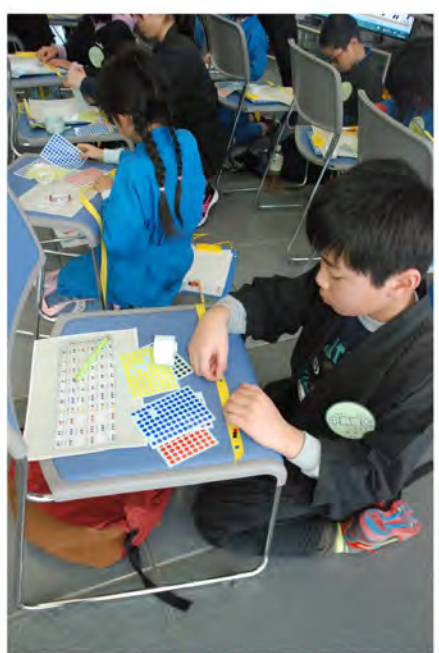
神服明生子記者
長野市6年



↓印の効果を説明する山田雄司先生



←敵に見つからないように、カメのように動きます



←忍者が情報伝達に使った五色米にちなんで、5色のシールを使って暗号文を作りました

川上先生は、忍者になるための修行を小学校に入る前からしてきました。本当に忍者になりたいと思わなければ続けてこれなかったと思います。

私は忍者というのは、大人になってからでもなれるものだと思っていましたが、川上先生に出会って、体をきたえたり、自分で食べ物をつくったり、火薬をつくれりーと、いろいろなことを覚えるためには、小さなころからの修行が必要だということが分かりました。



児玉佳音記者
飯山市5年

イラスト・五七五
りきさく

のりとグッスがもらえるよ

信毎こども新聞の5ページ目にある「りきさく」コーナーでみんなのイラストと五・七・五をしょうかいしています。今回は特別にこども記者ニュースで作品を大公開！ 冬の楽しさやひんやりした空気が伝わってきます。

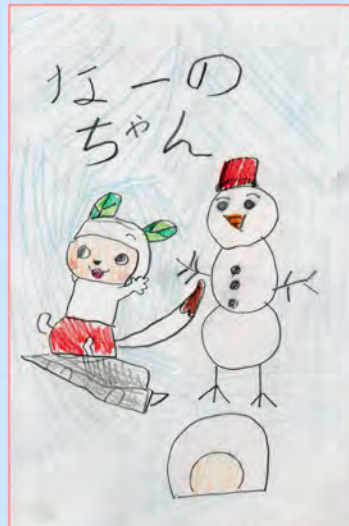
ぼしゅう

イラストと五・七・五は、はがきで受け付け中です。作品のほか、①名前・ふりがな ②学年 ③住所 ④電話番号 を書いて送ってね。
〒380-8546
長野市南泉町657
信濃毎日新聞社 読者センター こども新聞編集部

寒い夜
耳をすませば
雪の声
津留拓哉せん(東御市四年)

ギザギザで
空一面の
冬の雲
松井陽寿せん(東御市四年)

林優莉さん(長野市1年)



土屋華実さん(上田市4年)



星たちが
寒い中でも
じゃべーてる
竹内心音せん(長野市五年)

雪小(て)
一面ま(し)ら
そま(た)よ
市川姫菜せん(長野市三年)

雪がとけ
歩いた足あと
の(こ)てる
池上紫織せん(伊那市三年)

山上咲奈さん(須坂市4年)



西沢璃子さん(長野市2年)

